ＥＮＩＧＭＡ　ＦｉｒｅＰｌｕｓ　ｔｙｐｅ－Ｖ
ＧＳＸ－Ｒ１２５(2BJ-DL33B)／ＧＳＸ－Ｓ１２５(2BJ-DL32B)の取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種　下記組み合わせ以外には対応しません。
対応 ENIGMA　ENIGMA FirePlus type-V (FPV1430/FPV1430RTF)
対応車両　　SUZUKI GSX-R125(2BJ-DL33B)/GSX-S125(2BJ-DL32B)

カプラーオンタイプをお使いの方へ
下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、
ENIGMA FirePlus type-V のカプラーと接続してください。
ENIGMA FirePlus type-V 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう
固定してください。(配線接続作業は一切ありません)
作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的な GSX-R125/GSX-S125 の整備知識が必要です。
サービスマニュアルに従ってＥＣＵと配線が作業できるようにシートやカウルなどを取り外してください。
ノーマル車両のリアシートを取り外すとシート下にＥＣＵがゴムで取り付けられています。

ＥＣＵに繋がっている３６ピンカプラーに、配線を加工して ENIGMA FirePlus type-V を割り込みさせて下さい。
ENIGMA FirePlus type-V は近くに水に濡れないよう取り付けてください。

バラ線タイプの ENIGMA FirePlus type-V の場合、カプラー側の配線に Enigma FirePlus type-V 配線の
多くを**割り込み接続します。(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です。)**
割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く
ENIGMA FirePlus Type-V の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

● **基本的に ENIGMA FirePlus type-V から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMA FirePlus Type-V から接続する配線は全部で１７本です。**

ムラサキ線はサービス出力線なのでＥＣＵには繋ぎません。
使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

白線はピットレーンリミッタスイッチ用なのでＥＣＵには繋ぎません。
使用しないときは絶縁処理をしてください。

※　ＥＣＵの２番端子は白／ピンク線ですが、ENIGMA FirePlus type-V の白/赤線と接続してください。

※　ＥＣＵの７番端子（黒／青）へ接続されている線（水温）を切断して、
ENIGMA FirePlus type-V からの配線で、バイク車体側に黒／青線を接続、ＥＣＵ側に黒／オレンジ線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※　ＥＣＵの１２番端子（白／青）へ接続されている線(点火信号)を切断して、
ENIGMA FirePlus type-V からの配線で、バイク車体側にピンク／青線を接続、ＥＣＵ側に白／青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※　ＥＣＵの１５番端子（ピンク）へ接続されている線(速度信号)を切断して、
ENIGMA FirePlus type-V からの配線で、バイク車体側にピンク線を接続、ＥＣＵ側にピンク／白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※　ＥＣＵの２４番端子（黄／白）へ接続されている線(クーリングファン)を切断して、
ENIGMA FirePlus type-V からの配線で、バイク車体側に黄線を接続、ＥＣＵ側に黄／黒線を
接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※　ＥＣＵの２８番端子は深緑線ですが、ENIGMA FirePlus type-V の緑/赤線と接続してください。

※　ＥＣＵの３３番端子（緑／青）へ接続されている線(メーター)を切断して、
ENIGMA FirePlus type-V からの配線で、バイク車体側に青／緑線を接続、ＥＣＵ側に灰／緑線を
接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※　ＥＣＵの３４番端子（緑／白）へ接続されている線(噴射信号)を切断して、
ENIGMA FirePlus type-V からの配線で、バイク車体側に緑／黒を接続、ＥＣＵ側に黒線を
接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※　本体に直接水がかからないようにしてください。
また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。
マニュアルは３ページに分かれています。全て配線してください。

上段のみ記述しています。

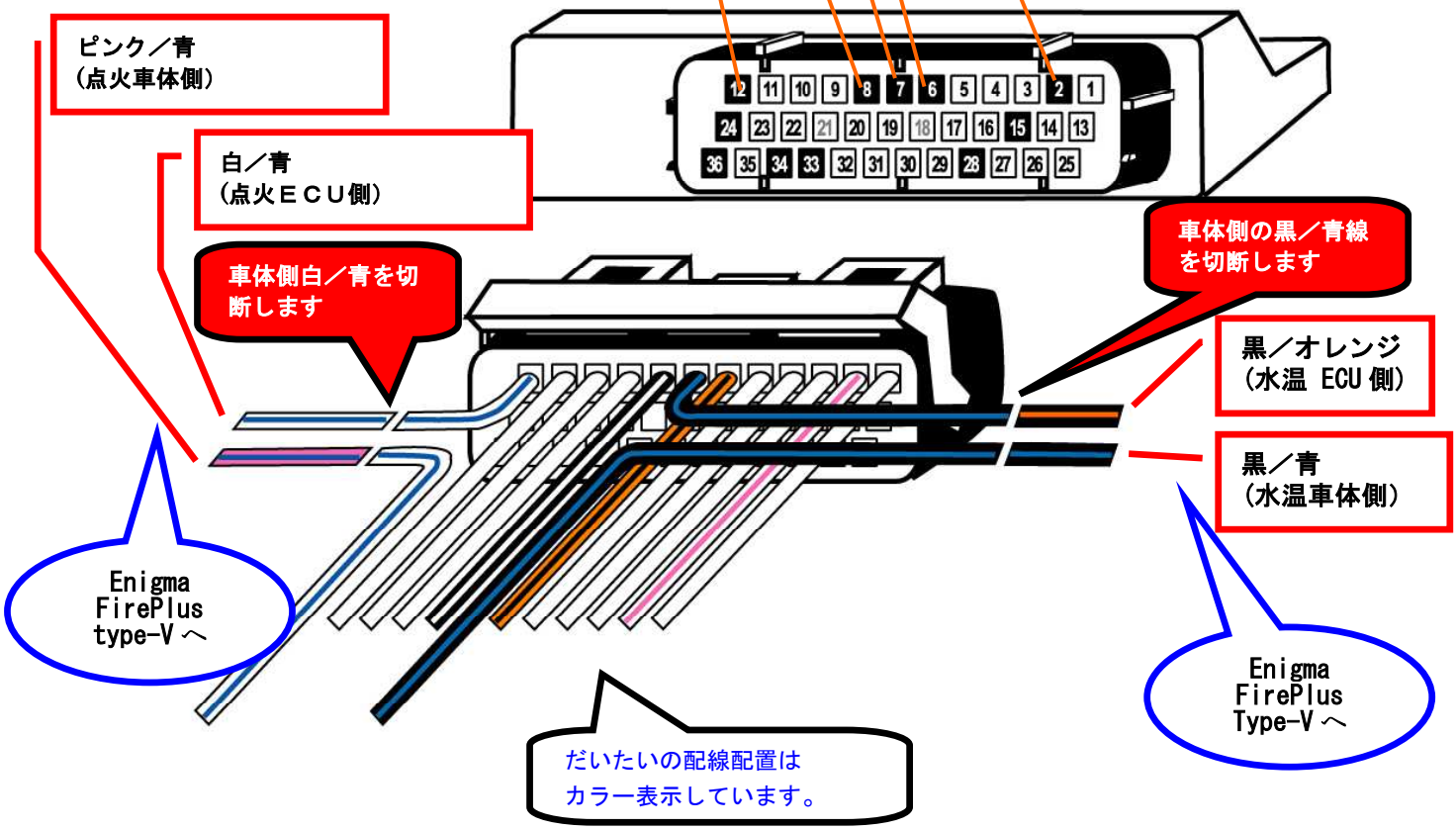
７　黒／青(水温)
下図を良く見て切断します。
ECU 側に Enigma FirePlus type-V の黒／オレンジを
車体側に Enigma FirePlus type-V の黒／青
を接続します。

８　黒／白（グランド）
Enigma FirePlus type-V の同色を割込接続します

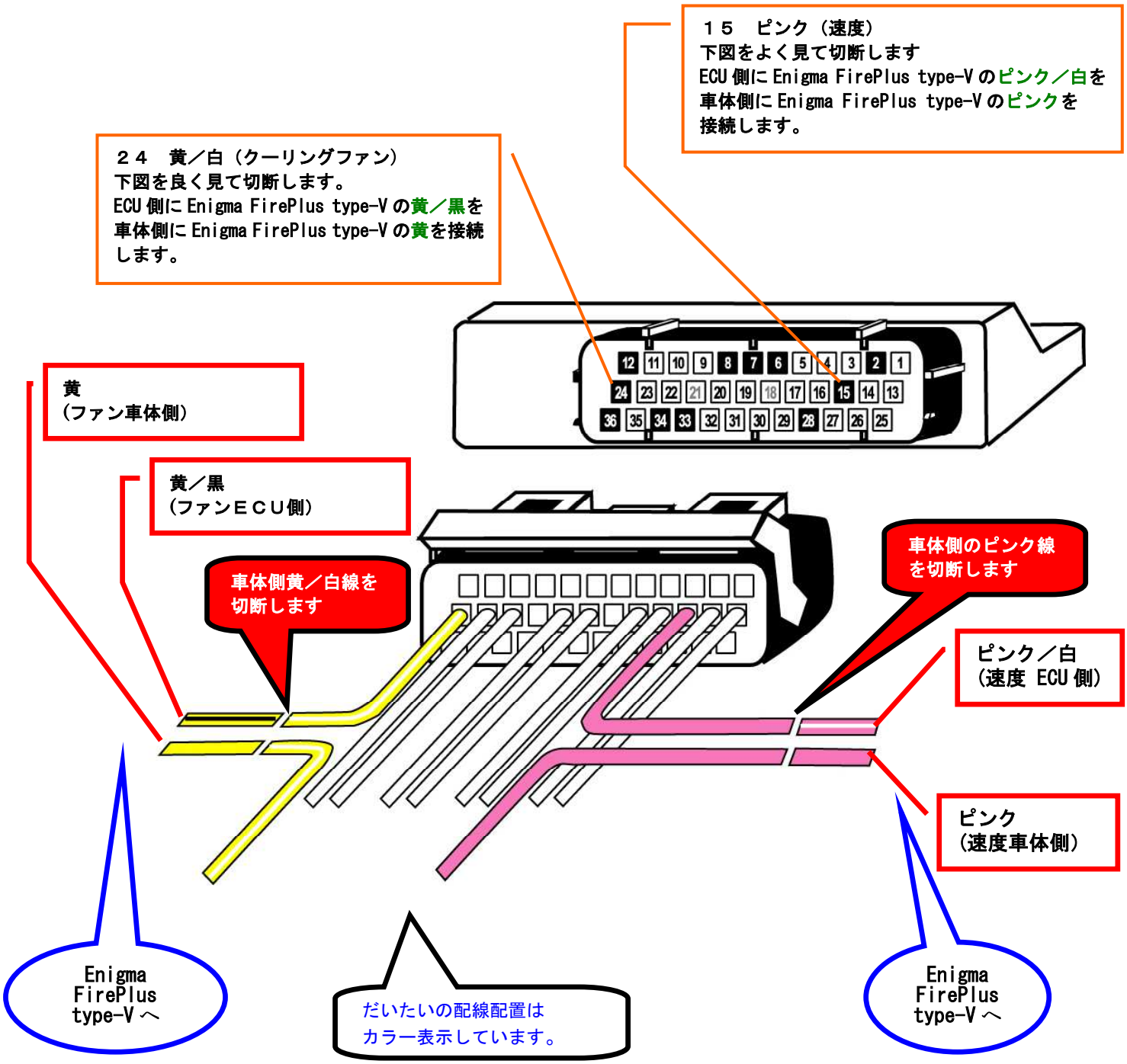
１２　白／青（点火）
下図を良く見て切断します。
ECU 側に Enigma FirePlus type-V の白／青を
車体側に Enigma FirePlus type-V のピンク／青を接
続します。

６　オレンジ／黒（電源）
Enigma FirePlus type-V の同色を割込接続します

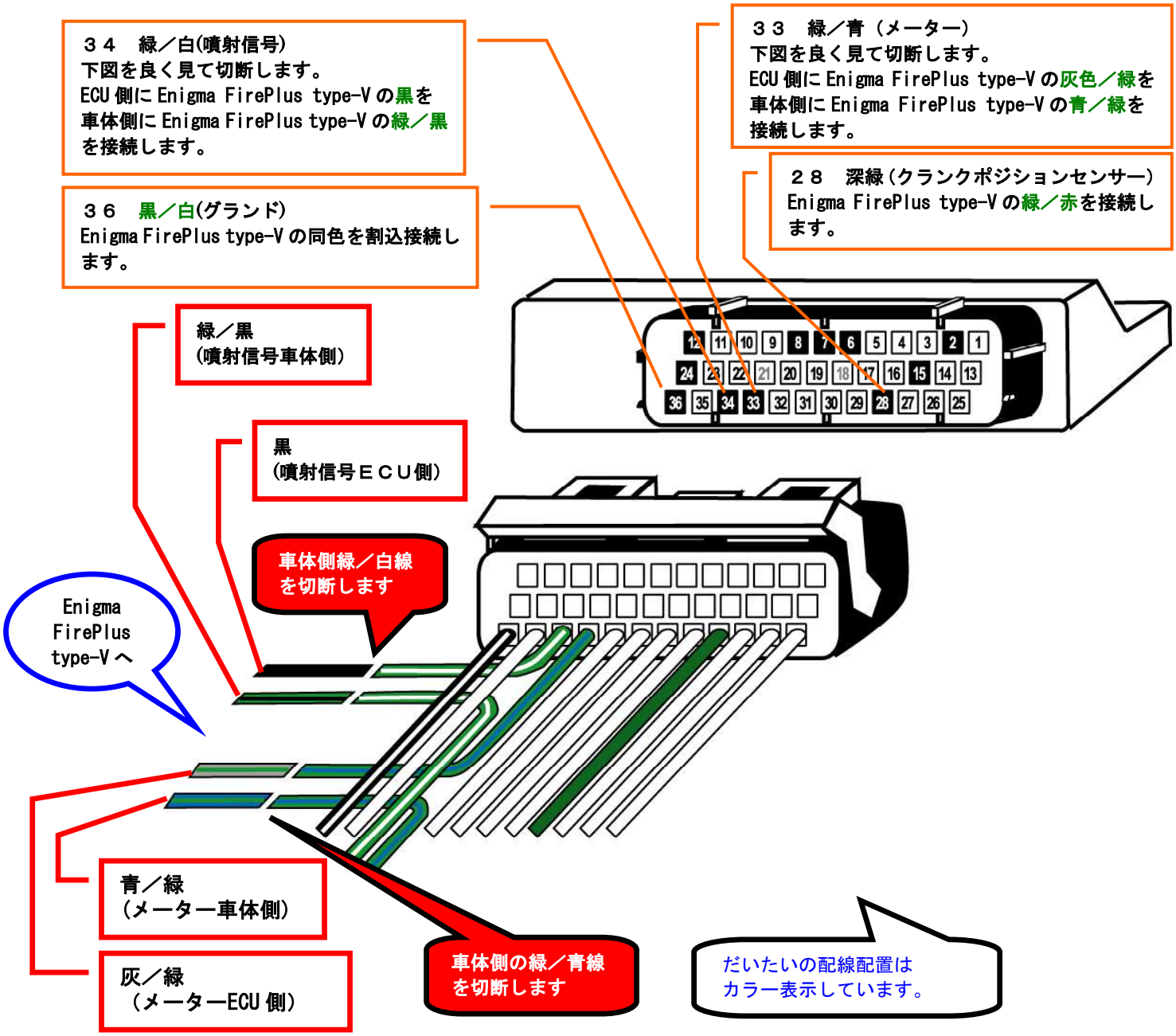
２　白／ピンク（ＴＰＳ）
Enigma FirePlus type-V の白／赤を
割込接続します。



中段のみ記述しています。



下段のみ記述しています。



■ **ＥＣＵ端子で繋ぐのは、２、６、７、８、１２、１５、２４、２８、３３、３４、３６の１０箇所です。上図でよくご確認下さい**

■ **ENIGMA FirePlus type-V から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**使用方法はこのマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。

■ **ムラサキ線はサービス出力線です。**ENIGMA FirePlus type-V はクランク１回転に１回、５Ｖを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋げば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA FirePlus type-V 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ **ＰＣ用ソフトは機種専用 ENIGMA FirePlus type-V GSX-R125(DL33B)/S125(DL32B)用ソフトをお使いください。他のバイク用ソフトはご利用になれません。**

■ iOS 用アプリ、Android アプリは ENIGMA FirePlus type-V 専用アプリをお使いください。ENIGMA FirePlus type-V 専用アプリは、アプリ内で GSX-R125(DL33B)/S125(DL32B)専用バイクモデルを購入することにより GSX-R125(DL33B)/S125(DL32B)用 ENIGMA FirePlus type-V で使用することができます。他のバイク専用のバイクモデルや FirePlus type-V 以外のアプリは使用できません。

■ FirePlus type-V 専用のソフト(アプリ)には EASY モードと PRO モードの 2 種類あります。PRO モードは点火マップがご自身で作成できないとエンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。初めての方はノーマル ECU の点火時期を進角/遅角できる、EASY モードをお使いください。

■ ＰＣ用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

http://www.dilts-japan.com/download.html

ピットインリミッタースイッチの設置

ＥＮＩＧＭＡから出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。
ピットインリミッターは外部スイッチＯＮの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。
（ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならい操作しやすい場所に設置します）
スイッチは「ＯＮ」で通電／ＯＦＦで遮断する一般的な仕組みの物です。
押している時だけＯＮになる物は適しません。ご注意下さい。

設置が終わったら ENIGMA FirePlus type-V の白線を繋ぎます。通常はスイッチには２つの端子が有りますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。
※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違ってプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

■ **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**